

速報

タイ3330地区へ水と衛生に関する
グローバル補助金事業の現状視察と贈呈式 ガバナー 花田 勝彦



今回は、タイ第3330地区の南部ナコーンシータマラート県に赴き、実際にグローバル補助金(GG)を使って浄水器を設置したり、トイレを改修した学校と、現状が生徒たちにとって深刻な問題を抱えている学校、つまり、まだ浄水器が未設置だったり、トイレ設備が不十分な学校の両方を見学してきました。

毎年当地区の地区大会を訪れているウィチャイPG(2006-

地区内のロータリアンの皆さんは、当地区が、水の事業で、タイの地区に補助金を送っているということを聞いたことがある方は多いと思います。ただ、具体的にどのようなことにいくら使われているのか、ということになると、詳しいところまでは分からないという方が多いのではないのでしょうか。私もその一人でした。

07DG 上の写真右端)によれば、最初はGGで識字率の事業を3年くらい行い、その後に浄水器設置事業に移行し、現在に至っているそうです。これまで当地区のGGを利用して浄水器を設置した台数は64基だということです。

GGの申請についてはすでに十分な実績とノウハウが蓄積されています。RIの7つの重点事項「水と衛生」に関する事業ですので、近年は、浄水器を設置した学校にトイレや手洗い場といった衛生設備が不十分であればトイレ等の増設、改修も実施しています。当地区の地区大会で、毎年のようにウィチャイPGがパワーポイントで説明してくれているのですが、百聞は一見に如かずとはまさにこのことです。

さて、今回設置済の3校は、幼稚園から高校までの生徒のいる学校でした。特に幼稚園児や小学生が日本とタイの小旗を振って歓迎





してくれる様子を目の当たりにすると、改めてこの子供たちに役立つ事業をしているのだな、という実感が湧いてきます。学校の生徒だけでなく、教職員やPTA等の学校関係者、地元のロータリアン、地域住民の方々に至るまで、贈呈式には多くの方が参加し、感謝の言葉を述べてくれます。子供たちの歌や踊りで歓迎してくれる学校もあります。また、贈呈式の席に着くと必ず出てくるのが果物、お



菓子、コーヒー、水、そして椰子の実のジュース等です。

学校長、地元のロータリークラブの会長、地区財団委員長の挨拶の後、ウィチャイさんの事業目的と成果に関するプレゼンもあります。ここで秀逸なのは、生徒3名の実行委員(右下の写真、水色の防護服を着ている生徒)を選任して、主体的に設備の維持管理を学び、実行させることや、近隣住民に廉価で水を販売して、得られた収益によってフィルター等



の消耗品を交換するという持続可能性を意識した事業となっていることです。

私は当地区を代表して、お礼の言葉を述べます。私たちが日本の本州最北端の青森から来たこと、冬は寒く、雪がたくさん降ること、雪は水に変わるからこそ、私たちは水の大切さを知っていること、日本のトイレの清潔さは世界一であること、長い時間をかけて地区の友好関係を深めて、こうしてタイの生徒をはじめとして、皆さんのお役に立てることが私たちにとっても幸せであることをお話ししました。

私たちの地区の先輩たちが維持発展させてきたこの事業の有用性は変わりありませんが、まだ道半ばであるという感も強くいたしました。ポリオ根絶活動にも似たようなことがいえるのかも知れませんが、だいぶ長い間続けてきたのだからもういいだろう、というマンネリ化を感じる方もいるかと思います。今回も現地に赴いて実際の現場を見ると、それまでの漠然とした考えから、私たちの実施している事業がいかに重要で、まだ達成前であり、多くの人びとの役に立っているのかを



明確に実感できるようになります。現地に赴いた私たちは地区内の皆さんにこのことを発信すべきであり、思いを共有すべきだと思います。

今回最も感じたのは、GGの現地パートナーの誠実さ、ひたむきさがこの事業の原動力になっているのだということでした。私たちもそれに応え、友情を育み、思いを一つにしていくことが必要だと思います。

ナコンシータマラートからバンコクに戻って、羽田行きの便に乗る前に、3330地区のジャ

クチャイDG、以下クワンチャイPG、パイキットPGほか数名が、最後の夕食をともにしてくれました。私たちはここでも友情を再確認し、帰国の途に着きました。

今回の日程をセットしてくれた佐藤健一財団委員長に感謝申し上げます。そして、同行してくれた工藤武重PG、成田秀治PG、須藤朗GG委員長、成田和代五所川原イヴニングRC会長もありがとうございました。是非色々なところで今回の体験をお話下さることを期待しております。



詳細は3月号に須藤朗グローバル補助金委員長、成田和代五所川原イヴニングRC会長(地区公共イメージ向上委員)から報告がありますので、お楽しみに!!